

世界を知る。日本を伝える。
イベントや講座は、新しい出会いの場所です。

第83号 [2025.11]
(公財)水戸市国際交流協会機関紙

こどもたちが、楽しみながら



絵本のよみかきで外国語に触れ、季節ごとの行事の由来や過ごし方を外国人講師から学んで、海外の習慣に親しみます。英語圏以外のゲストを迎え、広い世界へ知見を広げる講座も定期的開催しています。

新しい視点で



世界各地の文化・歴史・風土等の専門家による講座で、世界を俯瞰します。一方、市井の暮らしを通して文化や習慣を知る講座は、外国の方や長く海外で暮らした日本人をゲストに迎え、毎回和気あいあいとした雰囲気です。

外国人の方の交流の場として



名所巡り、伝統文化体験、公共施設見学など、日本の魅力を紹介する参加型のイベントを開催。年2回開催する国際交流パーティー参加者の出身地は10か国以上。あちこちで連絡先を交換する姿が見られます。

外国人留学生のための防災講座

毎年、茨城大学、市民団体および水戸市*1とともに、茨城大学の留学生を対象に防災講座を開催しています。今回は、約30人が参加。座学に加えて、水消火器を用いた消火訓練を実施。さらに災害時に役立つ簡単調理法「バッククッキング」を紹介しました。

*1 みと男女平等参画を考える会、水戸市防災・危機管理課



参加した13か国の留学生の表情は真剣そのもの



座学では必要に応じて、協会のスタッフが英語で通訳を



地震がきたら、アタマを守る練習も



全員が水消火器を使って消火方法を体験

- 頻繁に訪れる施設の避難経路を、あらかじめ確認しよう!
- 災害が起こった時、もしも外国出身の人が身近にいたら、ちゃんと情報が届いているか、声をかけよう!



バッククッキング(ポリ袋に材料を入れて湯煎する調理法)の紹介も



MCIA 防災担当 たけちゃんより

イベント・講座の情報は、ホームページ・facebook・LINEでお知らせします。

イベント情報
配信中!



水戸市で活動する国際交流団体

地域に根差した

教育文化活動・国際交流活動を実践・推進する「水戸ユネスコ協会」

ユネスコ憲章の「人の心の中に
平和の砦を築かなければならない」という
理念に基づき、平和な社会を実現するため
地域に根差した活動を行っています。

- 若い世代とともに平和で持続可能な世界について
学び考える「Mito UNESCO プラネタリー塾」
- 近隣の留学生との交流活動
- 国際教育活動への支援
- オーストラリア・モリアルタロータリークラブとの交流
- ESD (持続可能な開発のための教育)、SDGs (持続可能な開発目標) の
理念に基づく環境学習会及び学校などにおける環境教育の支援・協力
- 災害等救援・支援募金活動

受講生募集!

Mito UNESCO プラネタリー塾

若い世代とともに平和で持続可能な世界について学び考える連続講義です。
11月24日(月) 地域遺産保護 ～水戸一高校内の史跡ツアー～
12月13日(土) 異文化理解 ～日本文化を語る日本人養成～



詳しくはこちら

- ユネスコ憲章の理念に共鳴し、活動に関心のある方のご参加を歓迎します。お気軽にご連絡ください。

jimukyoku@mtunesco.jp



環境学習会
(2025年2月/プラネタリー塾)



布絵による国際交流
(2024年10月)



こみっとフェスティバルに参加
(2025年2月)

公益財団法人
水戸市国際交流協会
Mito City International Association

〒310-0024
水戸市備前町6-59

Tel. 029-221-1800

✉ mcia@mito.ne.jp

本紙についてアンケートに
ご協力ください。

もれなくMCIAオリジナルグッズをプレゼント!



MCIA
Mito City International Association

世界と出会う。笑顔が広がる。



はじめは
日本語で
こんにちは



日本語教室で
新しい体験を



外国人も
日本人も
一緒に楽しむ



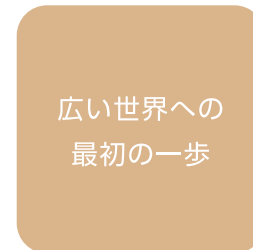
もっと知ろう!
国際交流のカタチ



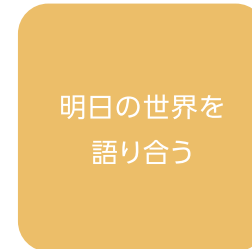
外国語って
どんなかな?



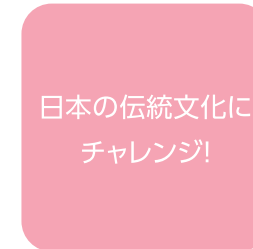
新しい
出会いが
ここに



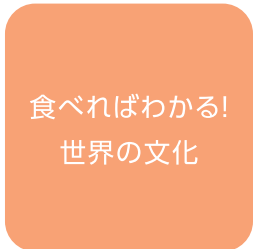
広い世界への
最初の一步



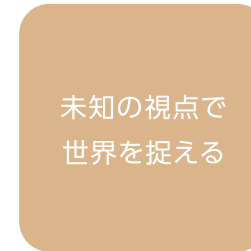
明日の世界を
語り合う



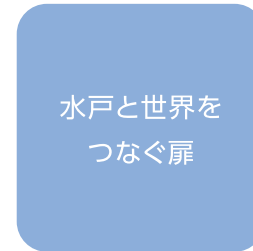
日本の伝統文化に
チャレンジ!



食べればわかる!
世界の文化



未知の視点で
世界を捉える

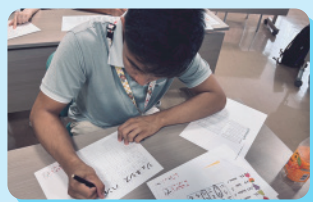


水戸と世界を
つなぐ扉



お互いに知り合って一緒に過ごして…… わかりあえる明日へ

コロナ禍を経て再開した、水戸市と米国カリフォルニア州アナハイム市との学生親善大使の交流活動。
昨年に続き、今年も、この夏に10代の学生たちが太平洋を越えて、お互いの都市を訪問しました。



アナハイムから水戸を訪れた6名の高校生。日本語で簡単な自己紹介もマスターしてきました。水戸に来て早々、カタカナで自分の名前を書く練習にもチャレンジしました。



アナハイム市は、ディズニーランドやエンジェルスタジアムなどがあるリゾート色豊かな都市です。到着してまずは、LA ダウンタウンのリトルトーキョーで大谷選手(壁画)と記念写真。



高橋市長表敬訪問では、みとちゃんがお出迎えしてくれました。実は昨年も今年も、アナハイムの学生に「みとちゃん」は超人気。みとちゃんグッズも喜ばれます。坐禅体験(祇園寺)をして、見川町にあるアナハイム通りも訪れました。



水戸葵陵高校の訪問では、書道体験に加え、全国トップレベルの書道パフォーマンスに感動。茶道、折り紙からどら焼きづくりまで楽しい1日を満喫しました。



「サヨナラパーティー」で水戸市学生親善大使は、お揃いのTシャツ姿で「みとちゃんダンス」を披露。参加者全員が一緒に踊ってくれました。パーティに参加した誰とでも気軽に「Hi!」と、言葉を交わしました。



国田義務教育学校では琴の演奏を楽しみ、柳河小学校では英語で歓迎セレモニー。アメリカにはない学校給食も体験しました。



アナハイムでの学校訪問は3校。アニメやゲームで、日本への関心が高まっています。ウェスタン高校には、選択科目に日本語があり、3年目で漢字が書けるレベルに驚かされました。



アナハイムでのホームステイ初日には、英語がうまく出てこないこともありましたが、いつの間にか自然と会話が弾むようになった2週間の滞在でした。



Topics 日本語プレ初級クラス

初めて日本語を勉強する外国人の方が対象。毎日の生活で使える簡単な会話やひらがなを、プロの日本語の教師が教えます。受講者の人数は年々増加、昨年度の合計は19人、2025年度は既に20名が受講しています。



世界とつながるワクワクいっぱいの2日間。

9月13日・14日、水戸市国際交流センター全館を会場に「国際交流のつどい」を開催。趣向を凝らした展示やイベントの数々に、館内を行き来することもから大人まで、様々な国の方たちが思わず微笑みを交わす、和やかな雰囲気、の2日間でした。



世界各地の美しい雑貨や小物を販売。



ロビーでは、アフリカの太鼓やインドのダンスを楽しみました。



世界中で人気の「はらぺこあおむし」。順番に8か国語でよみかせしました。



華をそえる、ベトナムの民族衣装「アオザイ」。



にほんごでゲームを楽しむ部屋は、日本語勉強中の参加者と大盛り上がり！



世界を知る、世界を感じるパネル展示も。



ライブラリーでは、10か国語の会話体験ができました！



「アンデス楽器の部屋」のミニライブは毎回、大盛況！



英語で茶道！初体験に、緊張の面持ち。



中国・インド・エジプト・ペルーのスイーツを作りました。



なぞなぞや、早口言葉で、英語に楽しく向き合う、貴重な時間も。



世界のコインを仕分けしながら、広い世界に想いをはせました。

書道体験には、水戸葵陵高等学校書道部員が来館

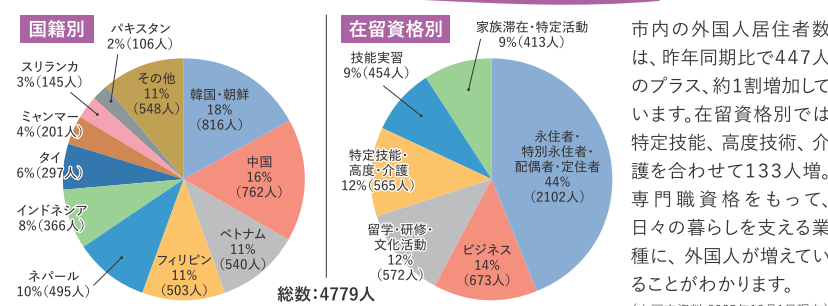
2025年6月に、アナハイム市学生親善大使が水戸葵陵高校を訪問。そのご縁で、今回の書道体験の講師をお願いしました。水戸葵陵高校は8月の「書道パフォーマンス甲子園」で見事優勝！演技の模様を、つどいの期間中、館内で上映しました。



参加団体

- 茨城県世界青少年コミュニケーションクラブ(WYCCI)
- NPO 法人茨城県ベトナム友好協会
- 茨城県ユニセフ協会
- JICA 茨城デスク
- NPO 法人日本・バングラデシュ文化交流会
- 水戸ユネスコ協会
- メサフレンドシップ

水戸市在住の外国人市民数



市内の外国人居住者数は、昨年同期比で447人のプラス、約1割増加しています。在留資格別では特定技能、高度技術、介護を合わせて133人増。専門職資格をもって、日々の暮らしを支える業種に、外国人が増えていることがわかります。

(水戸市資料 2025年10月1日現在)

次号予告

水戸市と重慶市は、2000年に友好交流都市の提携をしました。次号では、提携25周年を記念して実施した、親善訪問視察団派遣や講演会の様子、独自の発展を遂げた中国西南部の大都市、重慶市の魅力を紹介しします。

